

小学校 中学年<3-(9)>

学年	3年	時間	学級活動 「地震だ！まず自分たちの身を守ろう」3年	時期	9月上旬 (避難訓練前)	時数	1時間(45分)
目標	<ul style="list-style-type: none"> 地震の揺れにより身の回りがどのように変化するのかを知る。 揺れているとき、学校、自宅、登下校中等で外にいるときなど様々な場所で起こる災害の危険を知り、安全に行動することができるようにする。 						
資料・準備	スライド(文部科学省・防災教育教材「災害から命を守るために」(H20.3)高学年 地震・津波①「地震だ！まず自分たちの身を守ろう」)、ワークシート(文科省CD内)、地震被害写真、緊急地震速報アラーム音						

展開

	学習活動と内容 主な発問・指示(◇) 予想される児童の反応(・)	指導上の留意点 支援(○) 評価(☆)
導入	<p>1. 大きな地震の災害について学習することを知る。</p> <p style="text-align: center;">スライドを提示</p> <p>◇大きな地震が発生すると学校や家、まちはどうなってしまうのでしょうか。</p> <p>・家が壊れる・火事になる・ブロック塀倒壊・津波が来る</p>	<p>○大地震が発生するとどのような被害が発生するのか想像させる。</p> <p>○実際の被害写真等、準備して見せたりテレビ報道など思い起こさせたりする。</p> <p>○スライド1-1、1-2を扱うかどうかは、授業者の判断による。</p>
展開	<p>2. 様々な場所で地震が起こったらどのような状況になるか想像し、地震が起きたときどのような危険があるか、どのように身を守ればよいか考える。</p> <p style="text-align: center;">スライド2~4を提示</p> <p>◇学校/自分の家/外にいるときに地震が起きたらどんなところが危ないと思いますか。また、けがをしないために、自分だったらどうしますか。班で話し合いましょう。</p> <p><共通></p> <ul style="list-style-type: none"> あわてて行動しない 危険なものから離れる <p><学校></p> <ul style="list-style-type: none"> 防災頭巾などで頭を守る 机の下に潜る 校庭や体育館の中心に集まる <p><自分の家></p> <ul style="list-style-type: none"> 倒れてきそうな家具から離れる テーブルや机の下に潜る 身の回りのもので頭を守る <p><外></p> <ul style="list-style-type: none"> ブロック塀や自動販売機から離れる 丈夫な建物の中に避難する かばんなどで頭を守る <p style="text-align: center;">スライド5-1、5-2を提示</p> <p>◇海や山にいるときはどのように自分の身を守ればよいでしょう。</p> <p><海や山にいるとき></p> <ul style="list-style-type: none"> 高台へ避難する(海の場合) 崩れそうな崖から離れる(山の場合) 	<p>○昨年の学習を思い起こし、それぞれの場所での危険について班で話し合いをしてから学級全体で話し合う。</p> <p>○学校、自分の家、外についてのスライドを順に見せながら、一場面ずつ話し合いを進めて行く。</p> <p>○スライドの絵をヒントに、どんな身の守り方があるか意見を引き出すようにする。</p> <p>○学校や自分の家では、家具の固定にも触れるよう、教師は各班を回りながら助言する。固定器具など、実物を見せるのも効果的である。</p> <p>○状況や場所を具体的に示して想像させる。</p> <p><学校>教室で授業中、廊下を歩行中、休み時間の校庭、理科室・音楽室で授業中、体育館で授業中 など</p> <p><自宅>リビングでピアノをひいている、テレビを見ている、家族とお茶を飲みながらだんらん中 など</p> <p><外>通学路や遊び場 など</p> <p>○教師の体験談(鳥取県西部地震、阪神淡路大震災)</p> <p>○地域の海や山を具体的に示して想像させる。周辺にない場合、遊びに行った場合を考えさせる。</p> <p>○地震のとき、津波が発生すること、津波が大きな被害につながることを説明する。</p> <p>○東日本大震災の「釜石の奇跡」の話をする。</p> <p>☆予想される危険な事態について理解できたか。</p> <p>☆グループの話し合いを通して、状況に応じた身の守り方を理解できたか。</p>
まとめ	<p>4 スライド6を提示後、実際に回避行動を試みる。</p> <p>◇地震が起こったら、自分の身を守ることが一番大切です。それでは今、緊急地震速報が流れたとして、自分の身を守る行動を実際にやってみましょう。</p>	<p>○近年の主な地震の発生時刻から、地震はいつ起こるか分からないことや緊急地震速報について伝え、アラーム音を流して対応行動訓練を実施してまとめる。</p> <p>☆安全に行動する姿勢が身に付いたか。</p>

関連する教科・領域等	(社会) わたしのまち みんなのまち (短学活)「地震がおさまったら」3年 (学校行事) 避難訓練
協力団体	